

2023 年度 日本生活学会事業報告

(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

I. 事業活動

- 第 50 回総会・研究発表大会
2023 年 6 月 10 日 (土)、11 日 (日) に開催 (神奈川大学)
- 生活学プロジェクトの運営
- 日本生活学会 50 周年記念事業検討委員会の運営
- 生活学カフェの運営(オンライン)

II. 役員会開催

- 理事会 5 回
- 『生活学論叢』 vol.43、44 編集委員会 8 回
- 今和次郎賞 2023 選考委員会 4 回
- 日本生活学会研究論文賞 2023 選考委員会 1 回
- 日本生活学会博士論文賞 2023 選考委員会 1 回

III. 出版物発行・メールニュース配信

- 2023 年 6 月 「第 50 回研究発表大会梗概集」
- 2023 年 9 月 『生活学論叢』 vol. 43
- 2024 年 3 月 『生活学論叢』 vol. 44
- 日本生活学会メールニュースの配信

IV. 常置委員会活動

1. 総務委員会

委員長 真鍋陸太郎

(1) 第 50 回総会の開催

2022 年度事業報告、同収支決算報告、2023 年度事業計画案、同事業予算案作成

今和次郎賞 (0 件)、日本生活学会研究論文賞 (1 件)、日本生活学会博士論文賞 (1 件)

(2) 理事会運営 6 月 10 日、7 月 15 日、10 月 14 日、1 月 27 日、4 月 13 日

2. 学術委員会

委員長 山村崇

(1) 第 50 回日本生活学会研究発表大会を神奈川大学で開催した。

(2) 研究者の育成、支援の一環として、第10回の日本生活学会博士論文賞の審査を行った。

3. 『生活学論叢』編集委員会

委員長 出口雅敏

(1) 『生活学論叢』を年 2 回発行した。

第 43 号 2023 年 9 月発行

第 44 号 2024 年 3 月発行

(2) 2023 年度研究論文賞の審査を行い、受賞論文 1 本 (共著者 4 名) を決定した。

4. 事業委員会

委員長 内田青蔵

(1) 研究助成事業「生活学プロジェクト」を実施した。

(2) 生活学カフェを開催した。開催日時は、2023 年 8 月 6 日 (日) 13:30-16:00、クラウドファンディング「知の無尽講」に提案のあった 7 つのプロジェクトへの「チャレンジャー交流・アドバイス会」として開催した。

(3) 2024 年 1 月 20 日に日本民具学会、道具学会、日本生活学会の三学会共催でシンポジウム「モノがかわるとき」を開催した。

5. 情報委員会

委員長 土居浩

- (1) ウェブサイトの運営：適宜、会員向けの情報発信を行った。
- (2) メールニュースの運営：適宜、会員向けの情報発信を行った。
- (3) フェイスブックの運営：適宜、会員向けの情報発信を行った。
- (4) 「日本生活学会の 100 人」2 名（庄形篤氏・杉山由里子氏）のインタビュー記事を作成してウェブサイトで公開した。
- (5) 会員から会員への情報発信のためのフロー整備に取り組んだ。

V. 特別委員会活動報告

1. 日本生活学会 50 周年記念事業検討委員会

代表者 有末賢

- (1) 記念事業シリーズ I として、創立 50 周年記念シンポジウム：「生活」研究のこれから（モデレーター：黒石いずみ）を開催し、生活学の今後の方向を議論した。
- (2) 記念事業シリーズ II として、学術系クラウドファンディングサイトである(株)アカデミストの協力のもと、挑戦的プロジェクト「知の無尽講をつくろう」に取り組んだ。有志学会員による 6 組のチャレンジャーには、総額 5,077,909 円の支援が集まり、すべてのプロジェクトが目標金額を超えて成立した。今後、学会の資産に依存しない研究支援のあり方として、ひとつの方向性をさぐることができた。

以上